

ソフトマネジメントによる労働時間削減の好事例

取組名 鉄道工事における昼夜の引継ぎ時間短縮

取り組んだ現場の休暇取得状況

職員の時間外30時間以下

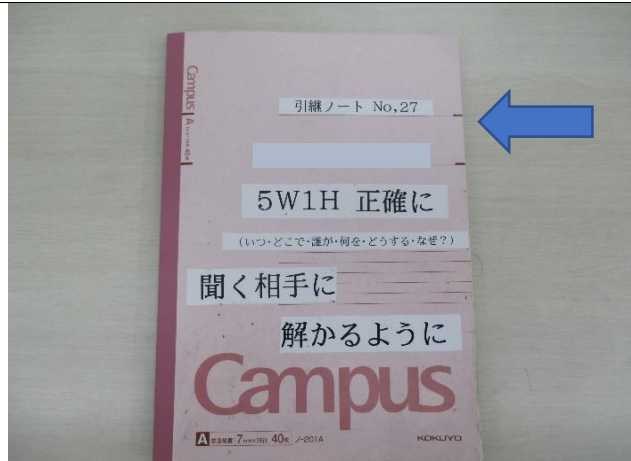
取組み概要

・昼間勤務者と夜間勤務者の対面での引継ぎは週一回（朝7：00～8：30）1.5時間、全員参加で行い日々の引継ぎについては、伝達ノートを活用する。又メールや所内インサークル等のSNSも活用し客先や社内の情報については確実に全体共有する。

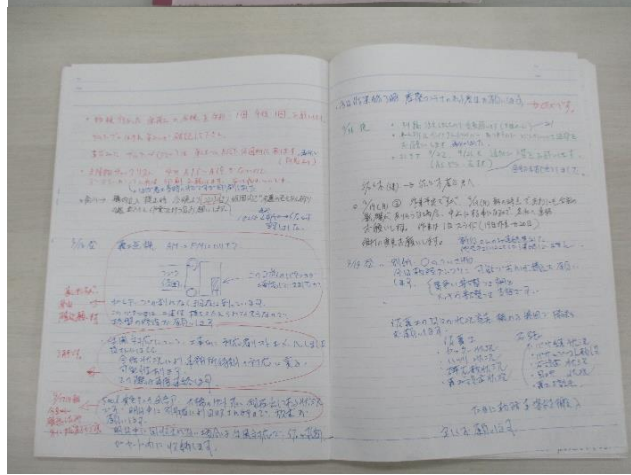
取組みの背景・課題

・昼間勤務者の原則勤務時間 8：00～16：45 夜間勤務者の原則勤務時間 21：00～5：45その為、対面にて引継ぎを行う場合、朝であれば2時間、夜であれば4時間近く担当職員の時間外が発生する。

取組み詳細



2017年10月から
日々愚直に行い
現在27冊目



効果

・その結果、職員の時間外を30時間以下に抑えている。

利点

・応答形式にし、日々の問題解決を対面と同様に迅速に行う事が可能。

継続のポイント

・現場をうまくきちんと進める為に、日々の引継ぎが如何に大切であるかを全職員が認識し、気になる事はすぐに伝える意識を持つ事。

改善点

・記載する際、5W1Hを明確に自分の思いだけでなく、受けて側に誤解を招かないよう気配りが必要。人によってどうしてもレベル差があり、はっきり理解出来ない内容で急ぎの場合、直接携帯で話をして確認している。

市販ソフト

・特になし

参考資料等

・特になし

適用条件等

・特になし

検索用分類

- 意識改革 業務削減 効率化 人材育成・教育 ワークシェア
- 適正工期 休暇 ワークライフバランス その他